

国立高度専門医療センター特別会計 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	3	1	△1	借入金	235	227	△7
未収金等	11	11	0	他会計繰戻未済金	9	-	△9
貸倒引当金	△0	△0	△0	退職給付引当金	46	46	0
有形固定資産	354	323	△30	その他	2	3	0
国有財産	324	297	△26	負債合計	294	277	△16
(公共用財産除く)							
物品	30	25	△4	< 資産・負債差額の部 >			
その他	0	0	0	資産・負債差額	75	60	△15
資産合計	370	337	△32	負債及び資産・負債差額合計	370	337	△32

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	123	75	△47
本年度業務費用合計(A)	△136	△145	△9
財源(B)	142	153	11
その他	△53	△24	29
本年度末資産・負債差額	75	60	△15

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費等	42	44	1
退職給付引当金等繰入額	7	7	0
医薬品費	13	13	0
医療技術開発等研究費	2	5	2
委託費	3	3	0
その他	66	71	4
本年度業務費用合計	136	145	9

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	24	15	△9
財務収支	△23	△14	8
本年度収支	1	0	△0
(業務収支+財務収支)			
資金への繰入等	△0	△0	0
資金残高等	2	1	△1
本年度末現金・預金残高	3	1	△1

平成17年度について

資産合計は325億円の減少、負債合計は167億円の減少、資産・負債差額は157億円の悪化、業務費用は92億円の増加となりました。資産合計の減少の主な要因は有形固定資産の減308億円であります。負債合計の減少の主な要因は借入金の減72億円及び他会計繰戻未済金の減98億円であります。資産・負債差額の悪化の主な要因は、資産評価差額による減△240億円及び業務費用合計と財源の差額による増82億円であります。

主な増減内容

- 貸借対照表
 - (資産)
 - 有形固定資産…価格改定(国有財産) △240億円
 - 減価償却(物品) △64億円
 - (負債)
 - 借入金…新規借入(102億)返済(175億) △72億円
 - 他会計繰戻未済金…産投会計 △98億円
- 資産・負債差額増減計算書
 - 本年度業務費用合計と財源合計との差額 +82億円
 - (上記(A)+(B)により算出)
 - ⇒企業会計の「当期純利益」に相当

留意点